

平成28年度 第2回射水市少子化対策推進委員会 議事要旨

- 1 開催日時 平成29年3月27日(木) 午後7時00分～午後8時50分
 - 2 開催場所 射水市役所本庁舎301会議室
 - 3 出席者
 - (1) 推進委員会委員
石津委員(委員長)、金瀬委員(副委員長)、沢田委員、安田委員、大門委員、上田委員、立浪委員、宮田委員、千田委員、山崎委員、小林委員、楠井委員、二川委員、森瀬委員
 - (2) 当局
未来創造課長、未来創造課長補佐、未来創造課員2名
 - 4 欠席者 清水委員、瀧田委員、島井委員、岩島委員、古谷委員
-

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 事務局紹介
- 4 報告事項
 - (1) 射水市人口ビジョンについて
 - (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - (3) 婚活支援事業について
- 5 閉 会

議事要旨

(1) 射水市人口ビジョンについて

以下を事務局から説明

人口の推移、年齢3区分別人口の推移、自然増減の推移、社会増減、5歳階級別人口の純移動の推移、総人口に与えてきた自然増減及び社会増減の影響、地域間の人口移動の状況、合計特殊出生率の推移、人口の将来推計、若い世代の首都圏等への転出、未婚率の推移、平均初婚年齢の推移、結婚持続期間別、平均出生子ども数の推移、人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察、人口の将来展望

(委員長) ご質問等はありませんか。かなり深刻な状況であるが。

(委員) 射水市で昨年生まれた子どもの数は何名か？

(事務局) 平成28年度においては出生737名、死亡者983人であり、自然減となっている。

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について

以下を事務局から説明

射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の背景、社人研による人口推計値
射水市の目標人口、総合戦略の基本目標と講ずべき施策の方向

(委員長) 総合戦略について説明いただいた。ご質問、ご意見があればお願いします。

(委員) 数値目標について子育てが楽しいと回答する人の割合が平成31年に100%と大変高いものとなっているが、保育現場では保育士がいない状況である。市内の大学を卒業し、市内の保育園や放課後児童クラブに何年か就職した場合に奨学金を返さなくてよいか、助成するといったことはできないか。働き手が減少する中、母親が社会に進出するため、助成を手厚くできないか。

(委員長) 子育てサポートする側について、手厚くできる可能性はあるか？

(事務局) 目標値100%は難しいと考えているが、目標として100%を目指す意気込みとしてとらえていただければ。保育士等への補助については、財政的な負担を伴うことから軽々に言えない。総合戦略の委員会に諮り、検討していただく。

(委員長) 是非、いろんなどころで言っていただければと思う。

(委員) 小学生、中学生に対する教育について、今後の結婚、出産については、県の少子化対策推進委員会の中でも話があったが、統計上、早く結婚すればそれなりの数のお子さんを産む力がある。小学生、中学生のうちから、人生設計の中で早く結婚することが多くのお子さんが授かる可能性があるということ伝える教育を進めるべき。射水市としても教育をしてはどうか。

(事務局) 教育委員会に今日の意見を伝える。

(委員) 仕事があれば、若者が帰ってくることが期待できる。新幹線開業後、県内でも企業進出が進んでいる。射水市として新たな企業団地を造成する計画はあるか。

(事務局) 新年度予算で新たな企業団地の調査費を計上している。コストコ、大和ハウス等の企業立地が進む中、北陸新幹線開業以来の追い風を生かし、また射水市の強みを生かして雇用の場の確保の部分として新年度に調査費を計上している。

(委員) 若者が射水の企業について知らない。地元企業で自分が活躍できるんだという企業の魅力が伝わらなければ U ターン等が期待できない。企業と行政が協力して射水の企業の魅力をもっと PR する必要がある。

(事務局) 数年前から企業と合同で就職説明会を行っている。また、企業を回るバスツアーを行うなど取組を始めている。今後も企業とタイアップしながら進めていく。

(委員長) 継続していただきたい。

(委員) 3月12日に小杉のポーリング場で行われた婚活イベントの実績は？

(事務局) 主催は恋活委員会であり、市としては補助金の支出で協力している、男女各18名で開催した。当日の欠席もあり、男性17名、女性16名で実施し、カップルは4組成立している。今回が2回目であるが、前回より盛り上がっていたと報告を受けている。

(3) 婚活支援事業について

以下を事務局から説明

結婚とりまく現状、 個人に共通した意識・問題点、 県内自治体の取組、
射水市の取組、 婚活イベントの概要

(委員) 他市の婚活パーティーの内容について、参加した射水市の男性等から情報収集を行っているのか。

(事務局) 他市の婚活パーティーも本市と同様に男性の参加要件は、市内在住若しくは市内企業勤務といった条件が課されていることから、情報は入ってきていない。市では、他市との情報交換を行っている。例えば、他市では射水市の女性が多く登録されている。地元だと恥ずかしいという点、狭いところでやっていると、婚活イベントの参加メンバーが固定されてしまうという弊害があるといった情報を共有している。

(委員) 情報発信についてどのように行っているのか？

(事務局) 県のネットワーク会議、市のホームページ、パンフレットの配布、新聞報道等を通じて行っている。

(委員長) SNS 等ではやっていないのか。

(事務局) ツイッター等でも発信している。新聞を見て親御さんから本人に働きかけて申し込みというケースが多い。

(委員) 婚活は大切。今の婚活イベントはパターン化されているが、回転自己紹介タイム等については、短い時間で自己紹介することになる。アピールできずに、悲しい思いをするケースが多い。トラウマにならないよう、楽しいと思える工夫が必要である。男性は自己アピールできない人も多いので、参加者に事前レクチャーすることも必要なことであると考えます。

(委員長) 恥ずかしいと思われないような工夫が求められる。

(委員) 企業で婚活イベントを行ったが、うまくいかないケースが多い。婚活イベントにはなかなか人が集まらない。商工会ではイベントを多くやっているの
で、ボランティアとして参加してもらい、最後の反省会等で行えば参加者が

増えるのではと感じる。女性の参加者が課題であるが、商工会の中でも検討していく。

(桶井委員) ありきたりのイベントでは、成果が出ない。参加者のうちイケメン等に人気集中しカップルがなかなか成立しない。波長が合うとか価値観が合うということを感じるためには、じっくり相手を見て付き合うということが必要である。そういった工夫が必要であると考え。料理を一緒に作ったりするといったいいとも聞く。そういった工夫ができないか。

(事務局) 大島食生活改善推進協議会では、ワンコイン婚活のイベント中で料理を男女の共同作業として取り入れている。市では、出会いの機会を少しでも提供することに主眼を置いているが、状況を見ながら今後のやり方については考えていく。

(委員長) お互いをよく知るための工夫は必要であるので検討していただきたい。

(委員) 市の婚活イベントの参加申込状況について、男性は 30 名の募集に対し、60 名の応募があったとのことだったが、抽選から漏れた方に対して次のイベントの紹介等があれば、次につながっていくと考える。

(事務局) 抽選に漏れた方については、市の補助団体実施のイベント等があれば本人に情報提供を行っている。それ以上のことは、個人情報の観点から行っていない。

(委員) 大人数にするとカップルになることが難しい面があるので、第 1 部、第 2 部といった形で少人数で実施するなどの工夫があってもいいのでは。

(事務局) 今回は 30 名で実施した。参加者アンケートによると 7 割が適正規模であったとの回答であったが、事業を重ねる中で改善を図っていきたい。

(委員) 各企業内のイベントでも結婚のきっかけとなる。企業内で男女と一緒に活動する機会をつくる必要があると考える。

(委員) 社会人になると異性に会える機会が少ない。商工会でも合同入社式等を行っており、社会人のマナーといった研修は行われているが、集まった社員を結びつけるものがない。入社式以降の関わりをつくることにより、いろんな

業種の方とつながりを持てるのではないか。そういったことも考えて欲しい。

(委員) 婚活パーティーの参加者の抽選の方法は？

(事務局) 受付順に対応した番号を紙に割振り、厳正な抽選を行っている。

(委員) 婚活イベントのみで終わるのではなく、複数回のイベントとすればより成果がでると考えている。

(事務局) 婚活サポーターズクラブの中で議論していく。

(委員長) 以上で、全ての内容が終了した。本日出されたご意見については、事務局で取りまとめて、しかるべきところで議論していただきたい。